



ともに考えあいましょう！ 東京都公民館研究大会にご参加ください

東京都公民館連絡協議会では、市民の学習・文化活動の成果を確かめあい課題を共有し、これからの公民館はどうあるべきか、担うべき役割とは何かなど、今後の公民館のあり方を考える機会として研究大会を開催いたします。

■日 時 12月11日(日)

午前8時30分～午後4時30分

■場 所 稲城市中央文化センター他

全体会 10時～11時30分

テーマ「いま岐路に立つ公民館 あらためてその役割を問う」

てい談 奥田泰弘氏(中央大学)、武田秀一氏(東大和市公民館運営審議会)

伊東静一氏(福生市公民館松林分館)



(昨年の大会の様子)

課題別集会 午後1時～4時30分

1 社会教育施設と指定管理者制度

2 職員VS公選審 本音トーク 2×2

3 知的障がい者の教室から人権を学ぶ

4 女性の学びと公民館～“気づき”からひろがり、ふかまりへ～

5 異世代交流事業をとおして得たものは！

6 地域を豊かにする公民館～市民と地域の連携を求めて～

助言者 朝岡幸彦氏(東京農工大学)

助言者 佐藤 進氏(中央大学)

助言者 兼松忠雄氏(国立市子ども家庭支援センター)

助言者 金 愛慶氏(白梅学園短期大学)

助言者 星野一人氏(社会教育生涯学習研究所)

助言者 佐藤一子氏(東京大学)

*申し込み・詳細については公民館本館または各分館へお問合せください。参加費 1500円(資料代等)

■■■■第14回ふっさ女と男のフォーラム■■■■

「お互いの自立と尊重を目指して」

平成18年1月28日(日)午後2時～4時

さくら会館ホール

■司 師 村松真貴子さん(元NHKテレビキャスター)

■定 員 先着100人

■入場無料

日常生活の中で、男性は「今の世の中はもう男女平等じゃないの」と思っている、家では家事や地域のことなどは女性に任せていたり、一方で女性は「自立しているつもり」でいても、実は経済的には男性を頼っているところがあるのも事実ではないでしょうか。

このフォーラムでは、講師に村松真貴子さんを迎えて、身近な生活の場面から男女平等について、あらためてみなさんと一緒に考える機会にしていきたいと思います。

迫りくる定年をむかえる団塊の世代や、そのジュニア世代のみなさんも是非ご参加ください。 ●手話通訳が付きます

託児付き

託児を希望される方は、あらかじめ公民館本館(☎ 552-1711)へ1月22日(日)までにご相談ください。



村松真貴子さんのプロフィール

東京都出身

武蔵大学人文学部日本文化学科卒業。SBS静岡放送にアナウンサーとして2年半勤務し、「テレビタリ」のキャスターを2年間勤める。

その後、東京のNHKで「NHKジャーナル」、「イブニングネットワーク」、「こんにちは ずっと8けん」などのキャスターや、「きょうの料理」などを担当する。